

第41回 会場の設け

# 川口市少年剣道大会

会場の設け

# 絆

日 時	平成24年3月4日(日)
	午前9時30分 開会
会 場	川口市立体育武道センター 競技場
主 催	川口市剣道連盟
共 催	川口市教育委員会
後 援	(財)川口市体育協会 川口市レクリエーション協会 川口市青少年保護育成本部

## 剣道の理念

剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である

## 剣道修練の心構え

剣道を正しく真剣に学び  
心を錬磨して 旺盛なる気力を養い  
剣道の特性を通じて 礼節を尊び  
信義を重んじ 誠を尽くして  
常に自己の修養に努め  
広く人類の平和繁栄に  
寄与せんとするものである

### 日本剣道形

#### 解説

日本剣道形は、明治・大正・昭和の三代にわたる剣豪・高野佐三部、内藤高治、門倉 正、根岸 信五郎、辻 眞平の諸先生を中心に、剣道の各流派の粋を集め、もっとも基本的な技を選び、これを太刀七本・小太刀三本に組み立て、技の理合いを極め、剣道の神髄を追求し、剣道修練の基礎としたものである。



役員・審判 (順不同)

大会役員

大会会長	小倉 順二郎				
顧問	岡村 幸四郎	神山 則幸			
	宮浦 博司	都築 初夫			
参与	江連 保明	下村 勉			
	新井 重行	大谷 一男	河崎 勝之	清水 重宣	
	山路 寿男	大村 隆士	板橋 一夫	小林 涉	
	富倉 利文	高橋 修平	遠山良太郎	山口 英邦	
	伊藤 常男	岩切 勉	増田 昌広	八谷 忠藏	

競技役員

大会委員長	土谷 徳男				
大会副委員長	木曾 昭仁				
大会審判長	佐藤 安治				
審判主任	古川 長治郎	柴田 康弘	明名 征哉	新井 重行	
大会委員	村田 志郎	小林 明	斉藤 和雄	小幡 文夫	
	大澤 芳昭	中迫 啓子	石崎 仁	小栗 義行	
	和泉 征二				
	各クラブ・道場派遣役員				
大会審判員	別 掲				
大会補助役員	各クラブ、道場、 総合高等学校生徒				



# 審 判 員

審判長 佐藤 安治 ※順不同

	第1試合場	第2試合場	第3試合場	第4試合場
主任	古川 長治郎	柴田 康弘	新井 重行	明名 征哉
審判員	土谷 徳男	八谷 忠巖	齋藤 俊博	村田 宏明
	菊池 博之	加藤 一郎	後藤 元司	板橋 一夫
	野口 一則	鈴木 滋男	高木 雅也	小川 明巳
	河崎 勝之	木曾 昭仁	石井 宏幸	林 晴彦
	大内 正俊	村田 志郎	佐藤 幸喜	工藤 浩史
	矢作 洋子	原田 譲治	増田 徹	久保田浩司
	細江 砂	持田 一夫	小山 正美	内田 宏
	高橋 修平	原田 明美	金澤 弘明	佐藤 充弘
	金子 高明	中澤 大輔	小田井貞雄	野口 和久
	中村 淳	山口 英邦	三代 哲夫	西野 翼
	大久保祐二	野澤 宗男	坂本 敏康	石崎 仁
		下平 由介	大澤 芳昭	川崎 真司
	上野 慶一郎			
	柳田 朗	足達 一郎	佐藤 裕之	
			山田 博之	
会場係	四 誠 館	戸 塚	安 行	鳩ヶ谷
	下村 啓	大森 明彦	村田 潤子	佐土原 亮
	秋山 真寛	箭内美奈子	松井 秀之	伊田 篤史
	臼倉 正悟	岡田 博司	中山千代子	山岸 春美
	竹内慎太郎	浅見 陽子	中村多美枝	八谷 嘉
補助	川口市立総合高等学校 生徒			
係り・担当				
大会・統括(本部)	土谷 徳男	木曾 昭仁	村田 志郎	
	和泉 征二	小林 明	小幡 文夫	
来賓・大会役員受付	和泉 征二	大澤 芳昭	遠山 心誠	
来賓接待	近藤 久美	山本 政枝	佐藤 みどり	
監督受付	竹村真由美	吉田美乃里	嶋村 節子	
選手変更受付	中迫 啓子	小林 明	小幡 文夫	
招集・誘導	武道館 2名	西剣 2名	横曾根 2名	
入場整理・駐車場係	大城 規予子	池田 勝幸	新郷剣道クラブ2名	
	領家剣道クラブ	川崎 真司		
プラカード	朝日東剣道クラブ	芝西剣道クラブ		
開閉会式関係	木曾 昭仁	村田 志郎	小葉 義行	
放送	小林 明	小幡 文夫		
役員接待	高橋	矢代	吉田	
	菅原 智子	田中 正子	松本 久美子	森脇 優理子
庶務(大会事務局)	和泉 征二	遠山 心誠	中迫 啓子	

## 大会記録

年度	回数	第1位	監督・選手名					第2位	第3位				
			監督	先次 三 鐘	十 二 得	十 九 得	八 七 得			六 五 得	四 三 得	副 大 得	
46年	1	武道館A	杉崎	平佐	榎	土本伊一	新青本岩	高中大平	四誠館A	武道館B			
47年	2	四誠館A		山藤本	谷橋藤色	木橋田	野村石松	大野中	野鶴岩飯	玉吉大内	岡茂大茂	武道館A	芝西A 領家B 芝西B
48年	3	四誠館A	大谷	大野中	人内鶴野	林岩吉玉	飯茂大茂	柴島原	島見井盛	井原沼藤	村木友木	武道館A	芝西A
49年	4	四誠館A	鈴木	大野中	田黒村内	林茂岩鶴	野玉吉飯	柴島原	野野見鳥	井原井	盛木沼木	武道館A	
50年	5	四誠館A	池田	黒藤佐久	川大田飯	野黒内林	小野岩野	黒藤佐久	川大田飯	野黒内林	小野岩野	武道館A	
51年	6	四誠館A	鈴木	川松純	谷黒佐川久	野黒内林	田村内黒	川松純	谷黒佐川久	野黒内林	田村内黒	武道館A	武道館B
52年	7	四誠館A	小河	大内大	中純上谷	川黒藤川	佐大大田久	大内大	中純上谷	川黒藤川	佐大大田久	武道館A	武道館B 正剣会
53年	8	四誠館A	佐野	柳関鈴	湊大大中	内純上川	谷川佐黒久	柳関鈴	湊大大中	内純上川	谷川佐黒久	武道館A	
54年	9	四誠館A	佐野	高大森	白関高鈴	柳大中内	大川純谷	橋山	倉口野木	田場村田	山崎貝上	武道館A	武道館B 四誠館B
55年	10	四誠館A	佐野	岡藤不	内高大森	山柳関鈴	高大内大	岡藤不	内高大森	山柳関鈴	高大内大	武道館A	
56年	11	四誠館A	佐野	岩村大	関内藤不	岡森大山	高関関柳	岩村大	関内藤不	岡森大山	高関関柳	武道館A	
57年	12	武道館A	杉崎	加藤隆	清大萩五	田染武藤	柴塚藤北	加藤隆	清大萩五	田染武藤	柴塚藤北	四誠館A	武道館C
58年	13	四誠館A	鶴見	藤原田	水島原嵐	中谷内倉	田田田野	不渡小	横山大村	沢岩田飯	村鈴不藤	武道館A	
			見	破辺沢	山下野木	崎井村田	木木破井						

平野 加中      誠心 山藤      二部 高鈴      (保護者会大) 藤見



年度	回数	第1位	監督・選手名						第2位	第3位		
			監督	先次三 三 三	十 十 十	十 十 十	九 九 九	八 八 八			七 七 七	六 六 六
59年	14	安行A	齋藤秋藤	柳	高永	佐池	宮小	関小	宮尾	栗池	武道館A	安行B
60年	15	武道館A	藤山	沢	橋尾	藤延	原栗	吉泉	原木	原延	四誠館A	
61年	16	武道館A	杉	中口	林江	山崎	川海	田野	杉原	水崎	安行A	芝スポA
62年	17	武道館A	杉	野崎	村	訪中	口口	林山	江木	崎野	四誠館A	安行A
63年	18	武道館A	杉	寺中	山	後上	樋杉	館田	関坂	高丸	安行A	正剣会A
元	19	武道館A	杉	竹佐	舟	佐寺	山立	後館	上塩	杉高	安行A	芝スポA
年	20	四誠館A	鶴	吉中	向	武田	砂矢	砂斎	柄二	内杉	安行A	武道館A
年	21	四誠館A	見	野沢	山	田端	山	藤沢	口	田原	安行A	芝西A
年	22	芝スポA	山	塔室	矢	西津	平高	高浅	大大	後室	四誠館A	安行A
年	23	四誠館A	鶴	浅池	鈴	吉田	松金	長武	金橋	向小	芝スポA	南剣A
年	24	四誠館A	内	倉田	木	野端	岡岡	山田	岡本	山葉	安行A	武道館A
年	25	芝スポA	山	田高	佐	塔岩	竹大	内小	稲田	矢室	四誠館A	正剣会A
年			岸	中野	木	岡崎	越保	村山	村中	作谷	芝スポB	武道館A

年度	回数	第1位	監督・選手名			第2位	第3位	第3位
			監督	先次五	中三副大			
8年	26	芝スポA	大谷大	録録得 竹高佐々 越野木	堅得得得 岩大小稲 久 崎保山村	芝スポB	武道館A	安行A
9年	27	芝スポA	大谷大	浅竹内 野越村	佐高岩大 久 保野崎保	芝スポB	武道館A	安行A
10年	28	安行A	齋藤	江福吉	森中吉仲	芝スポB	武道館A	四誠館A
11年	29	安行A	藤山	田田村 福内江	島村尾 福吉中森	四誠館A	武道館A	武道館B
12年	30	芝スポA	岸高	田田田 佐室細	田村島 追松稲浅	四誠館A	武道館A	武道館B
13年	31	四誠館A	木高	藤谷江 荒角山	川田村野 荒岡坂岡	芝スポA	武道館A	安行A
14年	32	四誠館A	橋石	井田田 荒角荒	井野本野 角山荒岡	芝スポA	武道館A	安行A
15年	33	芝スポA	井小	井田井 佐金星	田田井野 矢小小鈴	安行A	武道館A	四誠館A
16年	34	四誠館A	薬村	藤石野 山三山 小	作宮野木 荒山荒角 井井	武道館A	芝スポA	安行A
17年	35	安行A	田杉	崎田田 中辻中山 美慎	梨下健田 内山吉村	武道館A	芝スポA	四誠館A
18年	36	武道館A	崎石	鈴山栗 木口原 土中山	坂青山井 井木本藤 佐星野野	芝スポA	芝スポB	安行A
19年	37	芝スポA	井小	屋澤本 秋甲木	藤野島島 野加清山	武道館A	安行A	安行B
20年	38	四誠館A	薬石	山斐村 青中長	口藤水下 大土中細	武道館A	安行A	北剣A
21年	39	芝スポA	井石	木澤嶋 土新青	石屋澤川 長中大佐	新郷A	武道館A	戸塚A
22年	40	芝スポA	井	屋井木	嶋澤石藤	四誠館A	戸塚A	新郷A



平成23年度少年少女スポーツ大会(剣道の部) 大会入賞者一覧 H23.7.3実施

学年・組	優勝		第2位		第3位		第3位	
2年以下	武岡鈴音	北剣	清水 雅哉	武道館	上野 悠太	南剣	臼井 希弦	四誠館
3年男子	高木 優嘉	新郷	大城 涼	南剣	下村 匠	四誠館	千賀 悠稀	西剣
3年女子	宮川真理奈	四誠館	岡田 涼美	戸塚	田中 里菜	芝西		
4年男子	清水 翔太	武道館	小櫃 香月	安行	山田 真也	安行	土屋 風雅	芝スポ
4年女子	塚田さらさ	新郷	宮原寿江	安行	臼倉晴乃	四誠館	高橋杏樹	四誠館
5年男子	北山 竜也	武道館	江藤 響	南剣	渡部 大海	武道館	那須野琉雅	南剣
5年女子	山田さつき	新郷	金子円花	安行	奥村真尋	安行	新井さくら	芝スポ
6年男子1組	中村 陸	安行	大城実涼	南剣	秋山貴寛	四誠館	浅川哲多	戸塚
6年男子2組	長嶋 駿	芝スポ	森本啓太	新郷	山本誠剛	四誠館	和田憲史郎	南剣
6年女子	山本 二葉	武道館	中澤結貴	芝スポ	浅見菜々子	戸塚	中山千香子	安行

第2回小学生剣道大会選手権 大会入賞者一覧 H23.12.10.実施

学年	1位	2位	3位	3位
2年	武岡鈴音(北剣)	柳田早穂子(四誠館)	上野悠太(南剣)	臼倉鈴乃(四誠館)
3年	大久保駿(鳩ヶ谷)	大城 涼(南剣)	下村 匠(四誠館)	竹内良輔(四誠館)
4年	清水翔太(武道館)	土屋風雅(芝スポ)	古川 壱(鳩ヶ谷)	小櫃香月(安行)
5年	青木一真(芝スポ)	山田さつき(新郷)	植田雅大(安行)	金子円花(安行)
6年	中村 陸(安行)	塚田楓矢(新郷)	秋山貴寛(四誠館)	清水茂之(安行)

## 第 41 回川口市少年剣道大会開催要項

1	趣 旨	剣道を通して小学生の心身の健全な育成並びに、相互の技量の向上と親睦を図り、併せて少年剣道の発展に寄与することをねらいとする。
2	名 称	第 41 回川口市少年剣道大会
3	主 催	川口市剣道連盟
4	共 催	川口市教育委員会
5	後 援	(財)川口市体育協会 川口市レクリエーション協会 川口市青少年保護育成本部
6	日 時	平成 24 年 3 月 4 日 (日) 午前 9 時 30 分開会式(選手は 9 時集合)
7	会 場	川口市立体育武道センター 2 階 競技場
8	参 加 者	川口市内少年剣道クラブ・道場の小学生
9	試合方法	○団体トーナメント方式 ○試合時間は 2 分 3 本勝負とし、勝敗の決しないときは引き分けとする。チームの勝敗は勝者数・取得本数の順で決定する。 ○勝者数、取得本数が同数の場合は代表者戦 2 分 1 本勝負・延長 1 分、勝敗の決定するまで行う。(代表者の決定は自由とする)
10	選手構成	1 チーム 7 名編成とする。 (6 年生 2 名、5 年生 2 名、4 年生 2 名、3 年生 1 名) 先鋒は 3 年生とし、学年順で出場する。学年人数が不足した場合は下の学年から補充できるものとする。 (けが等による棄権者が出た場合、補充してもよい) ●選手の構成等に反したチームは失格とする。
11	参加数	各クラブ、道場からの参加数の制限なし。 ただし、A チームから割り振って、最終チームの構成人員が 4 名以上ならばチームの出場も可とする。また混成(合同)チームも可とする。
12	表 彰	優 勝 優勝旗・優勝杯・賞状・賞品 準優勝 賞状・賞品 第 3 位 賞状・賞品 敢闘賞 入賞 (3 位まで) しないチームの 6 年生に授与 優勝旗・優勝杯は持ち回りとする。



## 大会申し合わせ事項

### 1 大会運営上の確認

#### 時間

- (1) 開門は8:15とし、それ以前はこないこと。
- (2) 受付は9:00までとし、監督が行う。(受け付けをしない場合は、棄権とする。)
- (3) 練習については8:50~9:15まで2階競技場を許可する。ただし、1階フロア及び外での練習は禁止する。
- (4) 選手変更は当日の9:15までとする。

#### 場所

- (5) 選手の下足については、袋に入れ荷物と共に保管する。正面玄関の下駄箱は使用しない。正面玄関の下駄箱は一般用とし、役員は剣道場の下駄箱を使用する。館内のスリッパは来賓・役員用とし、選手・保護者は使用しない。
- (6) 更衣室については、男子は2階競技場、女子は1階剣道場女子更衣室とする。(女子の荷物も移動する。)
- (7) 中央の階段は来賓・役員・保護者用とし、選手(児童)は北側の階段を使用する。
- (8) 試合場には、選手・監督以外入らない。
- (9) 選手応援席は2階試合場周辺とし、観覧席は保護者の応援席とする。ただし、準決勝・決勝は各コートで応援してよい。3階には、立ち入らない。フラッシュ撮影は禁止。

#### 服装

- (10) 開会式は原則として選手全員が稽古着に着替え、胴と垂れをつけて出席する。閉会式は入賞チームが出席すること。
- (11) 審判の服装はネクタイを着用する。(監督はできるだけ)

#### 防具の着装等

- (12) 剣道着着装、面紐は結び目より40cm以内、小手紐はきちんと結ばせる。お守り等付属品はつけさせない。
- (13) タスキについては、幅5cm・長さ70cm以内のものを各チームで用意する。
- (14) 原則として選手は必ず布製名札(ゼッケン)をつけること。

#### 試合進行

- (15) チームの紅白の位置については、トーナメント表の若い番号の方を赤とする。
- (16) 試合場には現在試合をする2チームが入り、選手席(畳)の上に整列する。
- (17) 選手の入退場については、本部席(正面・上席)から監督・大将…先鋒の順で整列し、監督の指示で本部席に礼をし、着座または退場する。(監督不在の場合はキャプテンが指示する)
- (18) 選手が団体の試合で相互の礼をするとき、開始時並びに終了時ともに試合進行上、支障のないように5将まで3人の選手は小手と面をつけ、横一列、竹刀を持って並ぶ。
- (19) 試合の整列は、主審側より先鋒から順に並ぶ。

☆第1試合終了時からは試合を終えたチームの後に次のチームが主審側より先鋒から順に並ぶ。

☆礼については、現試合の終わりの礼と、次の試合の始まりの礼を同時に行う。その際、入れ替えは素早く行うこと。

※移動の際、本部席前の通過は禁止。

- (20) 第1試合の開始は、先鋒が9歩の間合いに立ち、全試合場がそろったら、審判長の笛の合図で礼をして蹲座し、主審の合図で始める。なお、礼法については十分に指導しておくこと。
- (21) 試合時の正面への礼は、第一試合開始時及び決勝戦終了時のみとする。
- (22) 試合中、選手・監督は正座で観戦する。(先鋒戦・大将戦のみ)

## 2 試合及び審判上の注意

- (1) 全日本剣道連盟の試合・審判規則に則り行う。
- (2) 団体トーナメント線。団体は原則として7人制とするが、人数の不足している場合(けが等による棄権者がでた場合を含む)は不戦勝として相手に2本与える。なお、学年枠による人数不足は、低学年(一学年下)よりも補充してもよい。
- (3) 出場チームはクラブ(道場)単位とし、チーム数は制限しない。混成(合同)チームも認められる。
- (4) 試合時間は2分3本勝負とし、勝敗のつかない場合は引き分けとする。勝者数・取得本数が同数の場合は代表者戦を行う。
  - ◎代表者戦=2分1本勝負・延長1分ずつ・勝敗の決するまで行う。(代表者の決定は自由)
- (5) つばせり合いが膠着(10秒前後)した場合、その場で「分かれ」「始め」の宣言で継続する。
- (6) 反則については「場外」と「竹刀落とし」のみとする。
- (7) 競技場へのストップウォッチの持ち込みは禁止する。
- (8) 竹刀の検査は特別には実施しないが、事故防止のため、監督の責任において竹刀の点検をし、完全なものを使用すること。
- (9) 下記の項目①②に該当する竹刀は「不正竹刀」となるので特に注意すること。
  - ①ビニールやセロテープを巻いた竹刀
  - ②異物を挿入した竹刀

## 3 その他

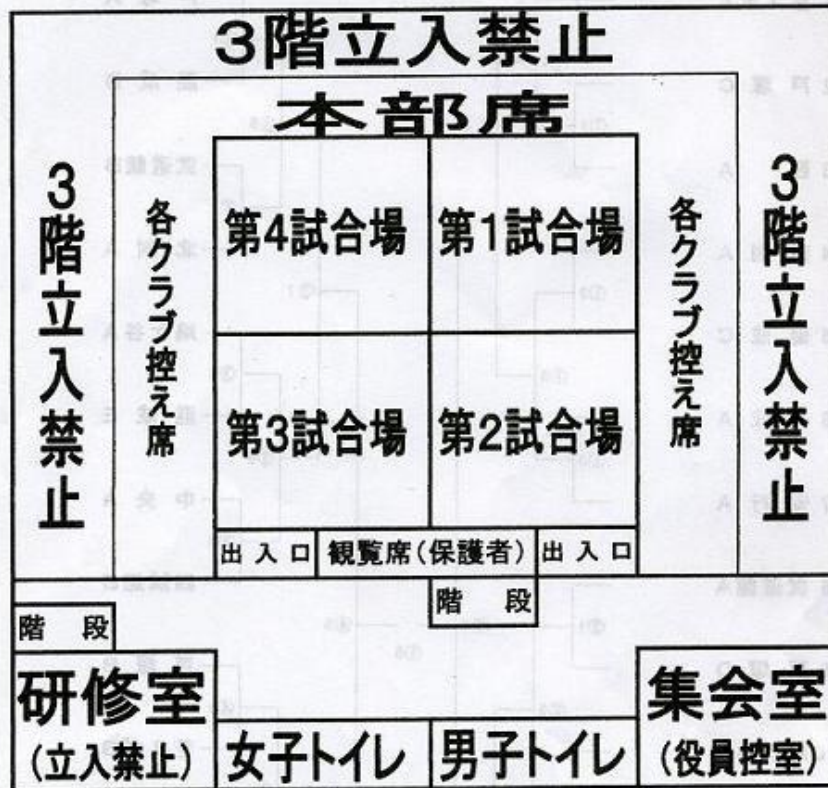
- (1) 3位入賞できずに負けてしまったチームの6年生に敢闘賞が授与されるので、試合終了後ただちに監督引率のもと本部席前にくること。
- (2) オーダー表を大会前日までに事務局に提出する。下記のように作成。
- (3)

市	杉	村	和	土	柴	古	小
剣							
A	崎	田	泉	谷	田	川	倉
6cm	5cm	5cm	5cm	5cm	5cm	5cm	5cm

◎A3サイズ用紙(横に二つ折りして左からチーム名・先鋒・大将)



## 【 会 場 図 】



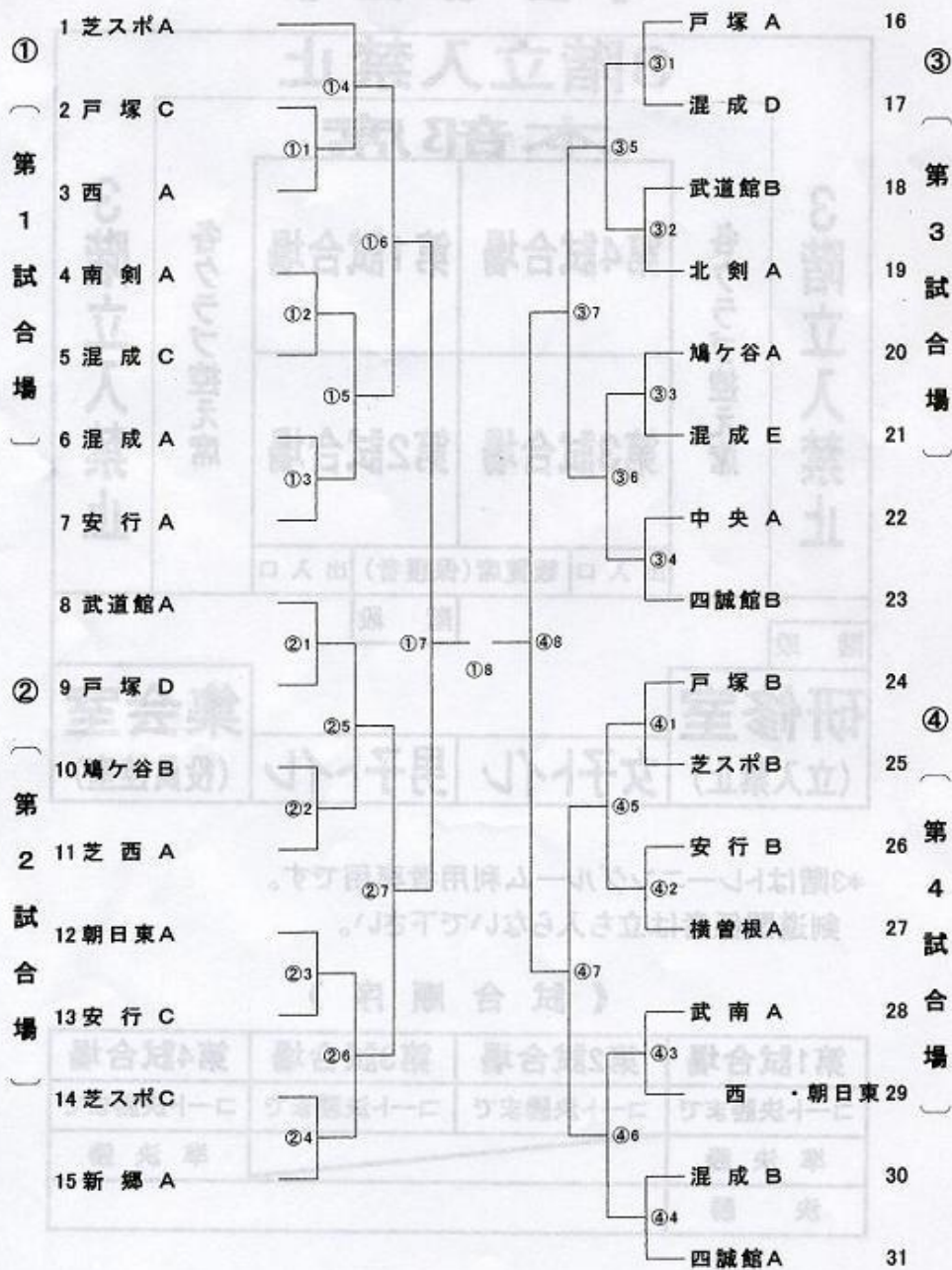
\*3階はトレーニングルーム利用者専用です。  
剣道関係者は立ち入らないで下さい。

### 《 試 合 順 序 》

第1試合場	第2試合場	第3試合場	第4試合場
コート決勝まで	コート決勝まで	コート決勝まで	コート決勝まで
準決勝			準決勝
決勝			

# 試合トーナメント表

【 国 家 会 】





団体出場選手一覧 順不同

チーム名		芝スポA	芝スポB	芝スポC	戸塚A	戸塚B
監督名		石井宏幸	小山正美	井上敬之	河崎勝之	河崎勝之
順番	学年	選手名	選手名	選手名	選手名	選手名
大得	6年	長嶋 駿	森田美香(5)	林 光太郎(5)	小椋蓮哉	浅見菜々子
副得	6年	中澤菜月	高島真伊香(5)	竹内春歌(5)	浅川哲多	河内雅也
三得	5年	青木一真	清間柊二	吉田彩乃(4)	名倉碧郁	佐藤弘樹
中堅	5年	新井さくら	青木将希(4)	鈴木敬人(4)	遠藤直孝	関口梨紗
五得	4年	土屋風雅	高橋太陽	高島環乃葉	佐藤 脩	宇田川佳歩
次鋒	4年	内田 光	後町楓士	鈴木華香	坂井佑一郎	厚川健史
先鋒	3年	山内将弥(2)	矢代敢那(2)		岡田涼美	片野坂勇樹

チーム名		戸塚C	戸塚D	武道館A	武道館B	南剣A
監督名		河崎 勝之	河崎勝之	遠山心誠	遠山心誠	田川佳生
順番	学年	選手名	選手名	選手名	選手名	選手名
大得	6年	大谷創平	北澤広規	山本二葉	巖本慶一郎	大城実涼
副得	6年	安藤銀河	若園英典	北村 祐	渡部大海(5)	和田薫史郎
三得	5年	北澤大季	橋本誠宏(4)	北山竜也	佐藤優吾	石関 裕
中堅	5年	遊馬考輝	因齋光太郎(4)	高橋空大	岡 伊吹	瀧瀬示穂
五得	4年	飯野小春	因齋あかね	清水翔太	青木美優	田海彰大
次鋒	4年	稲垣光要	井上輝斗	高橋 渉	二宮忠志郎	上野蓮介
先鋒	3年	今泉太河(2)	佐藤ひかり(2)	赤倉 陸	茅野淳之介	大城 涼

チーム名		四誠館A	四誠館B	芝西A	安行A	安行B
監督名		小栗義行	中澤大輔	渡邊信嗣	清水重宣	清水重宣
順番	学年	選手名	選手名	選手名	選手名	選手名
大得	6年	秋山貴寛	沼口直生(芝西)	渡邊 颯	中村 陸	稲熊悠太郎
副得	6年	山本誠剛	中西雄大(芝西)	渡部裕貴	清水茂之	中山千香子
三得	5年	宮川和己	高橋杏樹(4)		金子円花	小泉太一
中堅	5年	木村真子	臼倉暖乃(4)		植田雅大	服部龍之介
五得	4年	柳田耀大	竹内亮輔(3)	沼口峻大(3)	小櫃香月	植田彩文
次鋒	4年	秋山大騎	宮川真里奈(3)	桑島竜一郎	宮原寿江	山田真也
先鋒	3年	下村 匠	白井希弦(2)	中西晴香	橋 拓希	服部政胤

団体出場選手一覧 順不同

チーム名		安行C	北剣A	新郷A	西剣A	西剣・朝日東B
監督名		清水重宣	野澤宗男	板橋一夫	松丸和夫	本間健康
順番	学年	選手名	選手名	選手名	選手名	選手名
大将	6年	山田洸太	川上侑斗(5)	森木啓太	梅田温登	宮本一樹
副将	6年	小椋晴月	佐藤佑哉(5)	塚田楓矢	家納 翼	藤田真大(5)(朝)
三将	5年	岡本 颯	風穴 桜(4)	太田 瑞	青木詩花(4)	吉川 輝 (朝)
中堅	5年	藤野翔太	武岡琴音(4)	原田怜弥	山田果林(4)	濱崎七海
五将	4年	小葉海斗	結城くるみ	塚田さらさ	千賀悠翔(3)	家納颯太(3)
次鋒	4年	館野豪宏	宮村志歩	夏井聖斗(3)	千賀悠稀(3)	成田和史(3)
先鋒	3年	中山太貴(2)	武岡鈴音(2)	秋元俊太	松丸駿兵	松本莉奈

チーム名		鳩ヶ谷A	鳩ヶ谷B	朝日東A	横曽根A	武南警察A
監督名		東 浩	山口薫雄	増田昌広	遠山良太郎	石崎竹蔵
順番	学年	選手名	選手名	選手名	選手名	選手名
大将	6年	若松拓弥	浜田琢也	浅沼 名	増田駿也	田中雄大
副将	6年	佐土原京也	石巻秀介	山崎琴実	金子侑太	川上 響(5)
三将	5年	山田さつき	大室柊斗	福田和也		川井瑞穂
中堅	5年	八谷 祥	浜田健人	浅沼 瑞	山田大寛(4年)	山本宙輝
五将	4年	木村 仁	鷺足 恵		安藤優奈	箭内虎太郎
次鋒	4年	古川 巻	小川真奈	山崎未鈴	川上幸毅(3年)	中村海斗
先鋒	3年	大久保 駿	高木優嘉	高木皓平(2)	増田貴洋	田中琴海

チーム名		中央A	混成A	混成B	混成C	混成D
監督名		小林 正彦				
順番	学年	選手名	選手名	選手名	選手名	選手名
大将	6年	邊田翔大	伊藤 功紀	横山健太	山崎 渉	大竹真歩
副将	6年	古殿航大		岩下晃大		姫野 統
三将	5年	山脇優作		高木結羽	池田美彩央	下平竜生
中堅	5年	大和田 燈	佐藤晋哉	田中和代	越前谷晃	那須野琉雅
五将	4年	高木宏太郎	名塚仁志	二見尚輝	野口悠斗	八須正太郎
次鋒	4年	泉 俊輝(3)	木南秀康	伊田優史	関 南音	田中良太郎
先鋒	3年	大和田理央	阿部聖志郎	若松直弥		上野悠太



団体出場選手一覧 順不同

チーム名		混成E				
監督名						
順番	学年	選手名				
大将	6年	武田亮太				
副将	6年	池田颯斗				
三将	5年	村川未侑				
中堅	5年	末原有希菜				
五将	4年	金井将瑛				
次鋒	4年	小林蒼月				
先鋒	3年	橋本晃汰				

大会出場チーム及び出場数チーム

合計 18クラブ・道場  
31チーム  
208名

# 君が代

君が代は

千代に八千代に

さざれ石の

巖となりて

こけのむすまで

# 川口市民歌

ナトウ ハチロー 作詞  
園 伊双磨 作曲

朝に日暮れに 幼きあの日

キウボラ数えて 君と僕

機械の響きには ずんだ胸の

リズムは今でも 生きている

君よこの日も

語りたまえ

たのしく未来を

たのしく未来を

あふれる あふれる

幸せを...



第41回川口市少年剣道大会  
平成24年3月4日

